

事業主の声

そろそろ「健康経営」を
始めたいんだけど…



健保組合

従業員の健康度も
上がるし、企業の
イメージアップにも
つながりますね。

健康経営優良法人の従業員は**健康度が高い**

メンタルヘルスの相談
窓口を設置できない
かな？

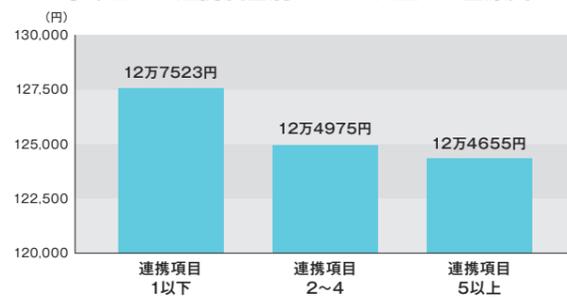
ストレス対策は健保
組合でも重要なテーマ
です。連携して取り
組んでいきましょう。

相談窓口の設置組合は傷病手当金件数が**少ない**

きめ細かな保健事業を連携(コラボ)して実施することで…

1人当たり医療費は
約**3000円**も低く

事業主との連携度合別にみた1人当たり医療費



出典 健康保険組合連合会「健康保険組合における保健事業の運営実態と医療費との関連分析」

100年先も加入者の健康のために

「いつまでも健康で過ごしたい」。いつの時代でも、誰もが願うことです。健保組合は他の保険者に先駆けて、働く人たちのそうした願いを後押ししてきました。これからの100年もその願いを受け止め、加入者の健康と安心を支えていきます。

加入者を支えて **100**年

健保組合

だからこそできること



1922年(大正11年)の健康保険法の制定から100年が経とうとしています。

健保組合は大正、昭和、平成、令和と、時を経ても事業主と一体となって加入者の健康づくり・疾病予防に取り組んできました。

「人生100年時代」といわれる今、全ての世代が元気に活躍し続ける社会をつくるのが求められています。健保組合の存在価値・役割はますます大きくなっています。

▶▶▶▶▶ 健保組合は 自主自立の 保険者です

健保組合の財源は、事業主と被保険者が負担する保険料で賄われています。協会けんぽのような国庫補助金を受けていないため、自主自立の保険者として**加入者のニーズ**や**事業所の業種・業態**に応じた自由度の高い保健事業が実施できます。



保健事業費 加入者の健康のために健保組合が使っている費用は、協会けんぽの**約5倍***になります。
*保険料収入に占める割合で比較

健保組合

- 人間ドック
- 禁煙サポート
- 予防接種
- 健康セミナー
- 特定保健指導
- メンタルヘルス
- 特定健診

協会けんぽ

- 歯科健診
- 常備薬配布
- がん検診
- 健診センター
- 保養所
- 生活習慣病健診
- 特定保健指導
- 特定健診
- 広報活動
- ウォーキングイベント

人間ドック	約90%
がん検診	約90%
広報(ポピュレーションアプローチ)	約90%
歯科健診	約30%
メンタルヘルス	約30%

健康経営優良法人のうち9割が健保組合に加入

●自主自立の運営だからこそ、個々の思いが保健事業に反映できます。

従業員の声



乳がん、子宮がん検診をもっと充実してほしいな。



歯科健診なんかあるといいかも。



健保組合のサービスや健康に関する情報を分かりやすく提供してくれないかな。



健保組合

早期発見・治療は大事です。若い世代の女性は男性に比べてがんになる可能性が高いです。

30代の女性のがんは同年代の男性の**約3倍**

歯の健康は、生活習慣病対策にもつながりますね。

歯の本数が多い人ほど医療費は**低い**

広報活動が活発なほど、医療費の節減効果も高まるといわれます。

広報頻度が高いほど1人当たり医療費は最大**6400円**低い

出典：国立がん研究センターがん対策情報センター/Health Science and Health Care 2017;17(1):36-37
 日本歯科医療管理学会誌 51(3),136-142,2016/健康保険組合連合会「健康保険組合における保健事業の運営実態と医療費との関連分析」